

平成21年度 奈良市中心市街地活性化協議会の事業計画

6月12日、商工会議所中ホールにおいて今年度第1回目となる「第6回活性化協議会」を開催し、同3日の運営委員会を経て提出された平成20年度の事業・決算報告及び平成21年度の事業計画（案）同予算（案）を審議し、いずれも原案通り承認されました。

本協議会では、今年度も引き続き奈良市と連携を図りながら、中心市街地の活性化に向けて、都市機能の増進及び経済活力の向上を目指し様々な事業に取り組んで参ります。

平成21年度の全体予算は9,973千円です。以下、主な事業計画について紹介します。



1. 活性化対策振興事業

・ 中心市街地活性化イベント開催事業

中心市街地商店街内において冬場1月から3月の間の閑散期に、イベントを開催し広く中心市街地活性化に対する啓発活動を目的として実施します。

開催するイベントの詳細については、今後行います商業活性化部会において検討して参ります。

・ 中心市街地商店街通行量調査事業

奈良市中心市街地の通行量の実態を時系列に把握することによって、奈良市中心市街地のまちづくり計画に資することを目的として本年度も昨年に引き続き実

施いたします。昨年度までは例年8月の第2日曜日に実施しておりましたが、本年度からは平日における通行量の動向も把握すべく日曜日と、翌日の月曜日の2日間実施いたします。

実施日は8月9日（日）、10日（月）、調査地点は昨年同様奈良市中心市街地を形成する13ヶ所のポイントで実施いたします。

2. その他

○ 基本計画事業民間第1号である「テナントミックス」事業の「フレッシュマート・オーケスト」オープンに伴う事業経過報告が、(株)桶谷の桶谷社長より行われました。

買物客は徒歩、または自転車であられ、来店者数は、当初予定していたお客様数だが、売上客単価が、やはり駐車場がないためか数字が低い状況であり、その為、近隣へはバイクで配達するなど色々工夫しています、との報告がなされました。

○ もちいどのセンター街内の旧印刷工場等の改装による「(仮称)ならまち劇場整備事業計画」について(株)明新社の乾社長より、経過報告が行われました。

当初の計画は、グッズ販売ショップ・飲食店テナント・劇場ホール等の運営計画でおこなっていたが、昨年秋の100年に一度の不況により主な収入源である飲食テナントが中々決まらない状況であるため、再度計画を見直しながら時期を見て進めたいとの報告がなされました。

○ 三条通り拡幅事業等の進捗状況について

このことについて、市の担当課に確認したところ、街路整備計画は、やすらぎの道交差点からJR奈良駅前交差点までの482mのうち、やすらぎの道交差点から西へ165m程の用地交渉については約9割程度の補償交渉を終え、残り317m程についても現時点で約6割の協力が得られている状況とのこと。



来年の1300年記念事業に当たり本年、10月頃から一部区間において、工事に着手する予定。

JR奈良駅東側の駅前広場の整備は、一部秋頃から着手予定。

7月25日より奈良市総合観光案内所（JR旧奈良駅舎）開設



奈良の玄関口として親しまれたJR旧奈良駅舎を改修し、新しい観光案内の拠点として、また、奈良を訪れる方々に対するもてなしの空間として、「奈良市総合観光案内所」が開設します。

開所式は、7月25日（土）午前10時から同奈良市総合観光案内所（旧JR奈良駅舎）で行われます。

このJR旧奈良駅舎は、大阪鉄道株式会社により明治23年に建てられた初代奈良駅に継ぐ2代目駅舎として、国鉄時代の昭和初期に計画され、昭和9年にその主要部が竣工されたもので、その様相は寺院風の和風屋根と鉄骨・鉄筋コンクリート造りの近代的構成の折衷様式をとっています。

連続立体交差事業により、駅機能が新駅に移ること、また、立体化事業の仮線敷設に支障をきたすことから、駅舎の存廃について議論を呼びました。市民をはじめ県民や観光客に親しまれ愛着が深かったことや、文化的価値を踏まえ、奈良県・奈良市・JR西日本の三者協議が行われ、連立事業で駅舎を曳き家し、奈良市が利活用することになりました。

施設概要

所在地	奈良市三条本町1082番地
建物面積	485.90㎡
主要構造	鉄筋コンクリート造瓦葺平屋
休館日	年中無休
開館時間	午前9時から午後9時まで

観光案内所ゾーン展開

①案内ゾーン

- ・総合案内（対面式カウンターで観光行き先案内をする）
- ・本日のみどころシステム（パソコンモニターでイベント開催の案内をする）
- ・ボランティアコーナー（観光ボランティアが相談

に応じる)

②情報検索ゾーン

- ・なら観光情報検索システム(パソコン4台を置き、既存ホームページを利用した観光情報の提供・奈良に関する豆知識の提供等を行う)
- ・奈良市観光案内地図(写真やイラスト等で構成、観光ポイントの紹介)

③イベント観光ゾーン

- ・イベントコーナー「特別史跡平城宮跡第1次大極殿正殿の柱と組織」

これは第一次大極殿の復元に際し、独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所が力学的基礎データを収集するため製作されたもので、この案内所開所にあたり譲り受け。

- ・映像コーナー(奈良市の観光スポットを映像で紹介)

④展示ゾーン

- ・観光パンフレット提供(奈良県・市内の観光施設に関連するパンフレット類を利用者に提供、閲覧スペース設置)

⑤休憩ゾーン

- ・休憩場所

運営方法は、奈良市直営で社団法人「奈良市観光協会」に業務委託され、また、ボランティアスタッフとして

- ・外国語ボランティアガイド1名(奈良S. G. Gクラブ等)
- ・観光ボランティアガイド1名(特定非営利活動法人なら・観光ボランティアガイドの会)

などで業務に当たられます。



いよいよプレミアム商品券が発売される!

6月20日・21日、奈良市商店街振興会(会長: 正木康雄)から「2009 まほろば総体記念商品券」が市内9ヶ所で発売され、初日の午前10時前にはすでに行列が出来ていました。

商品券には1万円の「まん」と1千円の「せん」にちなんで「まんくん」「せんくん」がデザインされています。1冊10,000円で販売され、1,000円券が11枚綴りで1,000円分のプレミアが付き、1人10冊まで購入できます。券発行総額は3億円(3万冊)となっております。

商品券の販売は、東向商店街の事務所前、もちいどのセンター街内の奈良マーチャントシードセンター、小西さくら通り商店街内のいせやビル内、三条通ショッピングモール内の浅川ハーベストビル、イトーヨーカドー、奈良ファミリー、パラディ学園前II近商ストア、サントウンプラザすすらん館、ダイエー富雄店の9ヶ所で行われました。



東向商店街では 20 日から 22 日、同商品券1枚（1,000 円分）で 1 回ガラポン抽選にて1等は同商店街加盟店で使える「お買い物・お食事券 30,000 円分」ハズレでも、1,000 円分の券をもらえなく進呈されました。この他、もちいどのセンター街、小西さくら通り商店街、三条通ショッピングモールにおいても商店街独自の懸賞を設けられました。

また、6月22日から24日は、東向商店街事務局と月ヶ瀬商工会、都祁商工会でも販売、そして7月28日・29日は午前9時から近畿まほろば総体の総合開会式が行われる鴻ノ池陸上競技場でも販売されます。

この商品券は、8月31日まで奈良市内の参加登録店約 650 店舗で使用可能となっており、同商店街振興会では、このプレミアム付商品券により奈良市内での消費拡大につながればと期待を寄せておられます。

なお、この商品券は、好評につき6月26日～7月10日に、東向・小西・三条・もちいどの各商店街で追加販売が行われました。

また、7月17日には奈良ファミリーでも追加販売されます。

商品券使用可能店舗の一覧など、詳細は奈良市商店街振興会のホームページをご覧ください。

【奈良市商店街振興会】

ホームページ <http://www.nara-shoushinkai.or.jp/>



事務局からのお知らせ

中心市街地商店街活性化マップを4月下旬に発行させて頂き、各方面からの反響がありました。

配布させて頂きました市民の方からは、分かり易くとても良いマップを作って頂いた、活用しますとか。

また、ホテルからは、宿泊客の案内にとっても便利で活用したく、まとまった部数を配布したく頂けないか、観光案内所を所管する観光協会からも配布依頼がございました。

十分な部数のマップが事務局にあれば配布致したいのですが、大半を中心市街地内及び周辺各家庭のポストへとポストイングを行った為、それぞれの希望には沿いかねている状況です。

そこで、事務局からの提案となりますが、当中心市街地活性化協議会のホームページ上にPDFにてマップの表面と裏面を掲載いたしております。倍率の拡大等により、必要な部分をプリントアウトして活用して頂ければと考えております。

